

小型淡水化装置 漁船で導入続く

沖縄ですでに10隻を超す

ワイスグローパーバルジョン(株)

ワイスグローパーバルジョンの小型淡水化装置の漁船への納入が相次いでいる。このほど沖縄県のソデイカ漁船が新たに導入、同社製淡水化装置の沖縄県内漁船への納入は1年余りで10隻を超えた。

導入したのは、JF名護漁協所属ソデイカ漁船・第5千咲丸(12ト)、仲間の勝幸船主。昨年12月中旬に毎時40以上の浄水能力がある「MYZE140」

導入船「水確保不安が解消」

機を導入した。沖縄では11月からソデイカ漁が解禁されて各船が出漁し始めている中で、わずかに半日で設置作業を終え出漁できた。

同船はこれまで近海のバヤオ周辺で操業していたが、常に真水の確保に頭を痛めていた。そこへワイスグローパーバルジョンの小型淡水化装置を使用した。コンパクトで設置も

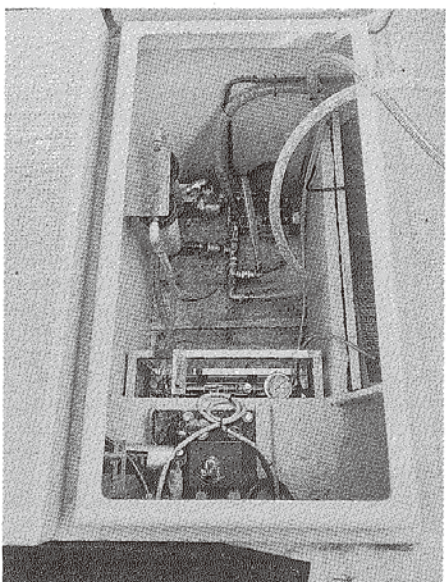
簡単、比較的安く設置できるワイスグローパーバルジョン社の装置を導入するケースが増えているという。第5千咲丸は水を積み込む2つのタンクのうち、一つを燃料タンクに改造でき、遠方への長期航海が可能となった。仲間船主は「導入によって飲料水が必要ない時に必要な量を造水して確保でき、航海や操業中の水の心配がなくなる。操業日数も伸びるので漁獲を上げるチャンスが多くなる。操作も簡単。」としている。

他の漁船でも同装置の導入は一気に進んでいるようだ。とにかく助かる」と大きな期待を寄せている。

ワイスグローパーバルジョン社では「当社の淡水化装置は世界最小クラスで軽くてコンパクト。水道法をクリアするレベルの浄水力があり、ハイパフォーマンスを実現できる」としている。



導入した第5千咲丸



コンパクトに設置された淡水化装置

▽ワイスグローパーバルジョン(株) 東京都港区浜松町1-28-13、浜松町フォアラムビル501、フリーダイヤル0120-9608-8003、FA X(沖縄本社) 0908-923-11872